



令和元年度 Vol.7

防災対策 情報便

| | |
|-----|----------------|
| 発行日 | 令和元年 10 月 31 日 |
| 発行元 | 災 害 対 策 課 |
| 所属長 | 課 長 馬淵 勉 |
| 電 話 | 06-6489-6165 |

1 台風第19号の被災地支援のため職員を派遣しています

令和元年台風第19号により、お亡くなりになられた方々に対し、心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、甚大な被害を受けられました皆様方にお見舞い申し上げます。

尼崎市では、中核市市長会の支援体制の枠組みで、長野県長野市に職員を派遣しています。

支援時期(現地での活動期間)

令和元年 10 月 21 日 (月) から 11 月 21 日 (木) ※派遣日程は予定

派遣先

長野市

派遣人数 (予定)

3 名 × 5 班 (延べ 15 名)

支援活動の内容

避難所の運営支援

その他

家屋被害認定士等、各種の支援については、現地のニーズにあった要請に対応できるよう、関西広域連合、兵庫県等と調整を進めています。



← 支援物資の仕分け・配布

睡眠スペースの設営→



← 自衛隊によるイベント



← 掲示板

通信手段→



2 災害時の応援業務に関する協定を締結しました。

10月1日、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社と「災害時の応援業務に関する協定」の締結式を、上下水道庁舎の管理者室で行いました。

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社には本市の水道料金徴収等の業務を委託しており、災害時には水道施設の早期復旧を図るため、協力体制の確立を目的として応援協定を締結しました。

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社関西支店の篠原支店長は「平成28年の熊本地震では実際に災害協定に基づいて応急給水活動を行った。そういった経験を活かし尼崎市に貢献していきたい。」とお話されていました。

主な応援業務

- (1) 電話及び窓口対応
- (2) 応急給水の実施
- (3) 被害状況の把握
- (4) 広報活動



3 南海トラフ地震を想定した津波一斉避難訓練を実施します。

令和元年11月5日(火)、午前10時から兵庫県の瀬戸内海沿岸の市町を対象に、南海トラフ地震を想定した津波一斉避難訓練が実施されます。

本市においても、学校や事業所などで訓練が実施され、屋外拡声器や戸別受信機などから、防災行政無線による訓練放送を行います。また、緊急速報メールや尼崎市防災ネットなどで、訓練メールも配信します。実際の災害と間違えないようご注意ください。

訓練の詳細は、<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/r1tunamikunnrenn.html>

訓練参加方法(行動指針)

| | |
|---|---|
| <p>1 正確に知る</p> <p>まずは、身の安全を守りましょう。</p> <p>まず広く 身を守り 動かない DROP! COVER! HOLD ON!</p> <p>3つの安全行動 「まず広く!身を守り!動かない!」 ※2016年10月現在</p> <p>津波の発生が想起される場合、津波警報等の情報を待たずに自らできる限り迅速に高い場所への避難を開始しましょう。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので警報・注意報が解除されるまで気をゆるめず、家に戻らないようにしましょう。</p> <p>1</p> | <p>2 実際に動く</p> <p>2</p> <p>避難誘導や防犯門扉の閉鎖にかかる実際の時間経過を意識しましょう。緊急速報メール、ひょうご防災ネット、防災無線、広報車等の伝達広報ツールを幅広く活用しましょう。</p> |
| | <p>3 自らの安全を伝える</p> <p>3</p> <p>災害伝言ダイヤル等(災害伝言板、LINE、Twitterなど)を利用し避難後の家族等との安否確認方法をあらかじめ決め、訓練当日に実際に連絡を行いましょう。</p> |

4 尼崎市民まつりに出展しました。

令和元年10月6日（日）に「尼崎市民まつり」が開催されました。

災害対策課も午前10時から午後4時まで、中央北生涯学習プラザ会場において、災害時のトイレ事情、水・食料品の備蓄、過去の災害の写真、指定避難場所におけるWi-Fiの利用についてのパネル展示や、過去の災害等の映像上映を行い、多くの市民の皆様にお越しいただきました。

災害対策課のコーナーに立ち寄っていただいた皆様、ありがとうございました。



災害時トイレのパネル展示



災害用トイレの実物展示



Wi-Fi 使えます



災害映像の上映



非常持出品の展示



災害写真のパネル展示

5 下水道部で業務継続計画（BCP）に基づく訓練を実施しました。

尼崎市では、地震や津波による災害の影響によって下水道機能が低下した場合であっても、下水道の業務を実施・継続するとともに、被災した機能を早期に復旧させることを目的として、『下水道事業 地震・津波 業務継続計画（下水道BCP）』を平成25年11月に制定し、毎年度ブラッシュアップを行い改定しています。

同計画に基づき、今年度も実地訓練、安否確認訓練及び情報伝達訓練を同時に行うロールプレイング方式による訓練を行いました。

日時：令和元年10月29日（火）9:00～12:00

対象：公営企業局下水道部職員（嘱託員を除く）80名程度

場所：上下水道庁舎5F、栗山中継ポンプ場、北部浄化センター等



訓練状況①



訓練状況②



訓練状況③



訓練状況④



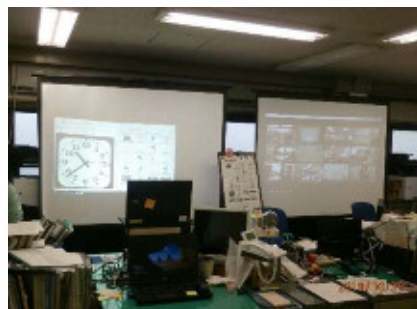
Web カメラ



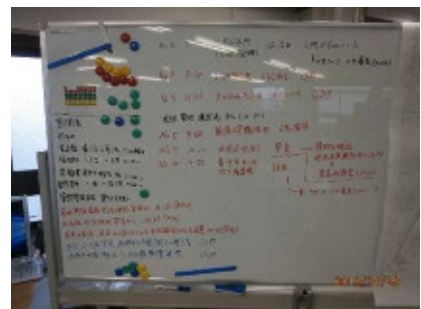
訓練状況⑤



状況付与カード掲示



スクリーン



ホワイトボード

6 今年度も気仙沼市へ職員を派遣しています。

令和元年 10 月 31 日現在の派遣状況

建設部都市計画課土地区画整理室：1 名（土木職）

ガス水道部施設整備課：1 名（土木職）

派遣期間・・・平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

以上